

DX

くまもとDXアクションプラン

概要版

令和6年(2024年)3月 熊本市

はじめに

策定の背景・趣旨

急速な少子高齢化の進展や生産年齢人口の減少と、コロナ禍を経たライフスタイル・ワークスタイルの変容、それに伴う地域課題や市民ニーズの多様化・複雑化など、地域社会を取り巻く環境は大きく変化しています。

一方で、ICTやAIをはじめとするデジタル技術の進展やマイナンバーカードの普及拡大、多種多様なデータの利活用等が急速に進んでおり、こうしたデジタル化の波に乗り遅れることなく、行政や地域社会の在り方をデジタル化に合わせて変革していく、社会全体のデジタル・トランスフォーメーション(DX)が求められています。

本プランは、日々進歩するデジタル技術やデータを効果的に活用し、行政サービスや日々の暮らしの中に新たな価値や多様な選択肢を生み出すことで、デジタルの恩恵が全ての地域、市民に行き渡り、誰もが毎日の「便利」を実感できるまちの実現を目指して策定するものです。

基本的事項(位置づけ・計画期間)

国の関係計画等

- ✓ デジタル社会の実現に向けた重点計画
- ✓ デジタル田園都市国家構想基本方針
- ✓ 自治体DX推進計画 等

- ✓ 官民データ活用推進基本法

整合

位置
付け

熊本市第8次総合計画

計画期間：R6(2024)年度～R13(2031)年度

第8次総合計画において展開する取組をデジタル技術及びデータ活用の視点から総合的・効果的に推進

くまもとDXアクションプラン

計画期間：R6(2024)年度～R9(2027)年度

※計画期間中においても毎年見直しを実施

熊本市官民データ活用推進計画

目指す姿と基本方針

目指す姿

デジタルの活用により、毎日の「便利」が広がる、
自分にあった暮らしが選べる、一人ひとりにやさしいまち

3つのCの実行 → 熊本市のDX



基本方針

基本方針1(行政DX)

DXの推進による行政サービスの利便性と質の向上

市民本位の行政サービスのDXを推進し、サービス全体が「わかりやすく」、「簡単」、「便利」であることを目指します。また、業務効率化により、生み出されたリソース(時間や人材)を活用することで、より「親切」で「丁寧」なサービスを提供します。

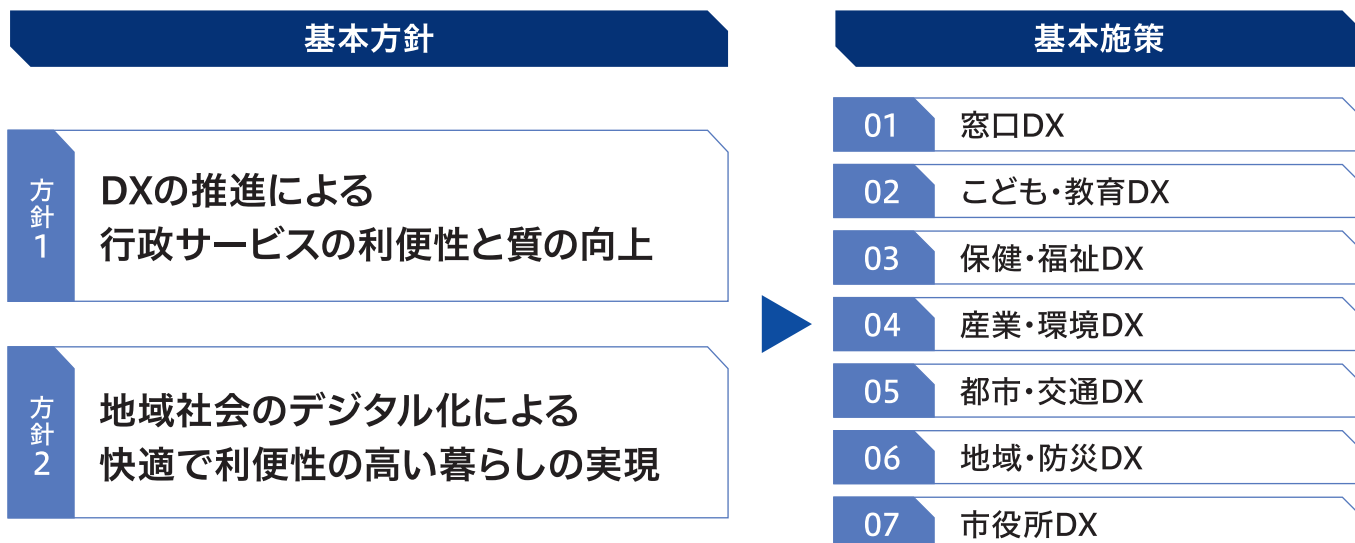
基本方針2(スマートシティ)

地域社会のデジタル化による快適で利便性の高い暮らしの実現

地域活動や公共交通、防災といった地域社会のデジタル化、データやICT等の先進技術を活用した都市機能の効率化・高度化によるスマートシティの取組や、地域産業のスマート化等を推進することで、誰もがデジタルの活用による利便性を実感できるまちを目指します。

7つの基本施策と5つの重点プロジェクト

2つの基本方針に基づき、社会全体のDXを推進するため7つの基本施策に取り組みます。この中で、市民のニーズが高い取組を5つの重点プロジェクトとして位置づけます。



①窓口DX

市役所の窓口に行かなくても行政手続きができる環境を整備するとともに、窓口で手続きをする場合でも、手続きがより早く、より簡単、快適にできるよう窓口DXを推進します。



②こども・教育DX

デジタル技術を活用し、教育の質と保護者の利便性を向上させるとともに、こどもの健やかな成長と若者への支援を行います。

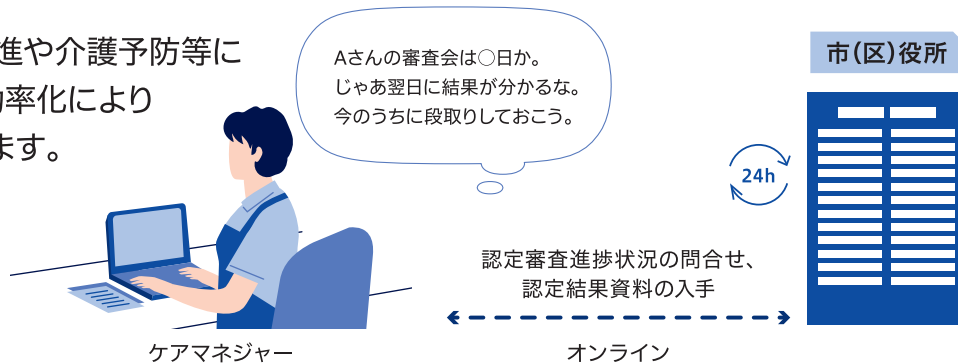


③保健・福祉DX

デジタルを活用した健康増進や介護予防等に取り組むとともに、業務の効率化により質の高いサービスを提供します。

主な取組

- ✓ 介護DXの推進(重点③)
- ✓ 健康ポイント事業
- ✓ エビデンスに基づいた健康づくりや介護予防



【重点③の取組イメージ】介護認定業務の効率化

④産業・環境DX

中小企業者や農漁業者のDXの推進や、持続可能で革新的なサービスの創出を支援します。

主な取組

- ✓ 中小企業者等のDX推進支援
- ✓ 観光DXの推進
- ✓ スマート農業の推進

⑤都市・交通DX

多様な交通手段の整備等により地域公共交通の利便性向上と利用者の増加を図り、持続可能な公共交通の確立を目指します。

主な取組

- ✓ MaaS推進事業(重点④)
- ✓ 市電のキャッシュレス化



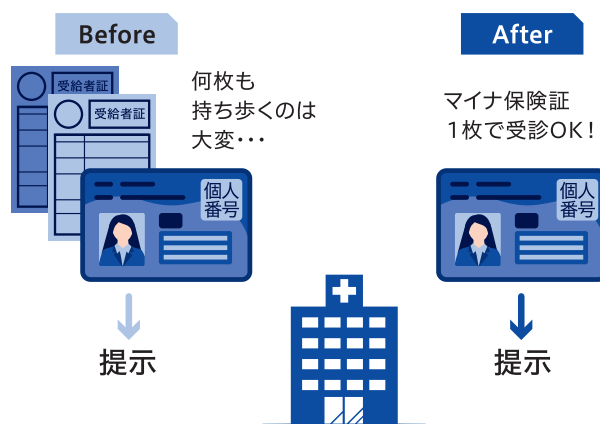
【重点④の取組イメージ】AIデマンドタクシー

⑥地域・防災DX

地域活動や防災、教育、医療など、さまざまな分野でマイナンバーカードの利活用を推進し、市民の利便性向上と行政の効率化を図ります。

主な取組

- ✓ マイナンバーカードの利活用拡大(重点⑤)
- ✓ 地域へのICT支援
- ✓ 建物被害認定調査の効率化



【重点⑤の取組イメージ】各種医療費助成受給者証との一体化

⑦市役所DX

市役所の内部事務の効率化と生産性の向上を図るとともに、職員の働き方改革を進めます。

主な取組

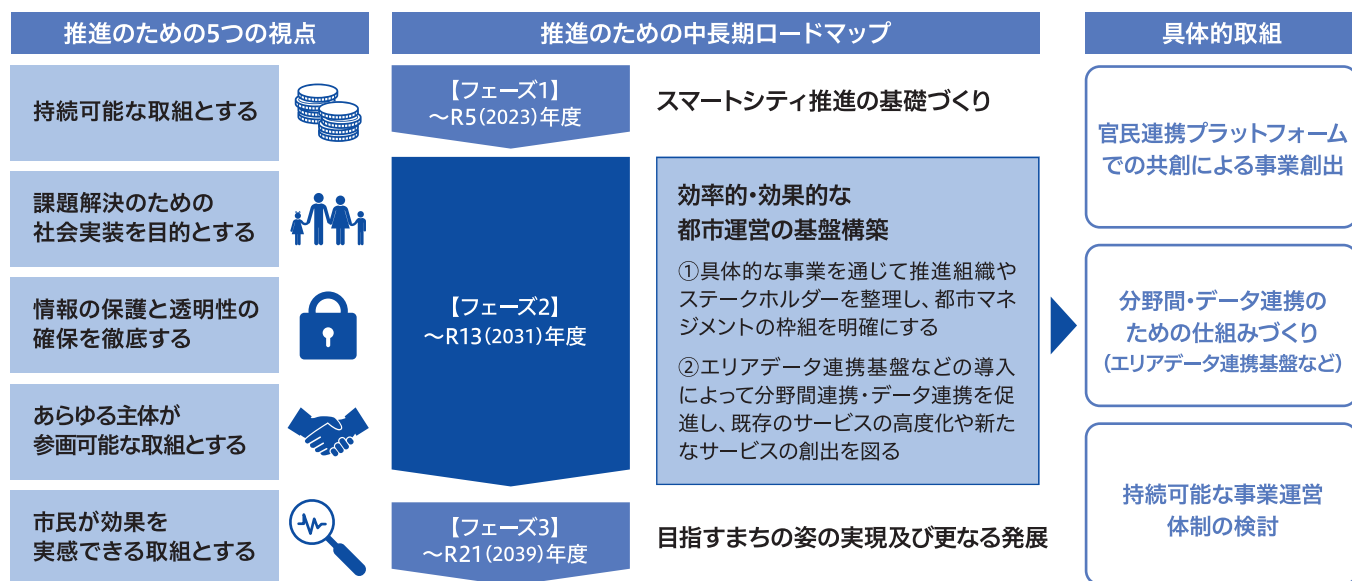
- ✓ 契約事務のオンライン化
- ✓ 生成AIの活用

スマートシティくまもとの推進

推進の方向性

本市では、データやICT等の先進技術を活用した都市機能の効率化・高度化によるスマートシティの取組を推進するため、令和4年（2022年）3月に「スマートシティくまもと推進戦略」を策定し、中長期ロードマップのフェーズ1に掲げるスマートシティの基礎づくりに取り組んできました。

本プランは、「スマートシティくまもと推進戦略」を取り込む形で策定しており、本プランにおいても引き続き、5つの視点のもとで中長期ロードマップのフェーズ2を推進し、官民連携による地域課題解決に向けた分野横断的な取組を行います。



分野間連携・データ連携の促進

地域課題の複雑化や市民ニーズの多様化などに対応していくためには、データを分野横断的に活用することによって、データの価値を引き出す発想を持ちながら取組を推進していく必要があります。本市では、エリアデータ連携基盤の活用等により、さまざまなデータをかけあわせ、地域課題の解決や地域活性化に取り組んでいきます。

エリアデータ 連携基盤とは…

異なるシステム間のデータを相互に利用できる形式で適切に認証・送達を行うことで、分散して存在する多様なデータの「仲介役」となり、データを効率的に活用したり、サービス間で相互に連携させる機能を有する基盤のこと。

エリアデータ連携基盤のイメージ



推進に向けて

推進に向けた基盤強化

1. デジタルデバイドへの対応

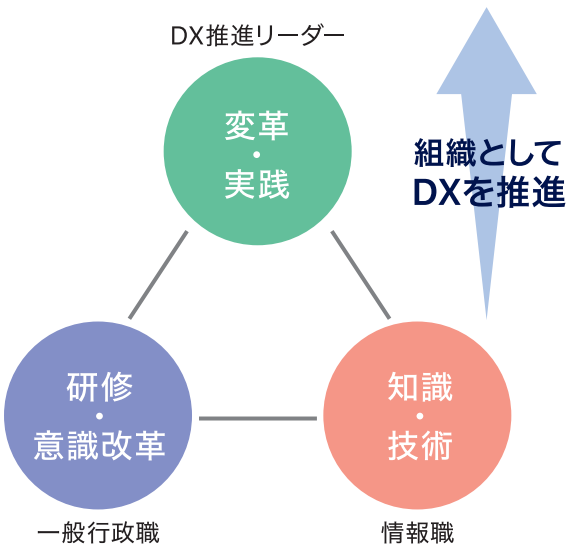
デジタルの恩恵が全ての地域、市民に行き渡り、誰もが利便性を実感できるまちの実現に向けて、デジタルを活用して多様化する市民のニーズにきめ細かに応えるとともに、デジタルに不慣れな方へのサポートや相談体制の充実に取り組めます。

2. デジタル人材の確保・育成

デジタルに関する知識や技術を備えた情報職の登用や、各分野のDX施策の中核を担う「DX推進リーダー」の育成に取り組むとともに、デジタル関連資格取得の支援やDX関連研修の充実等を通じて、組織全体のデジタルリテラシーの向上を図ります。

具体的取組

- ✓ 情報分野の専門職(情報職)の計画的な採用
- ✓ DX推進リーダーの育成に向けた専門研修の実施
- ✓ デジタルに関する資格取得の支援
- ✓ DX関連研修の充実

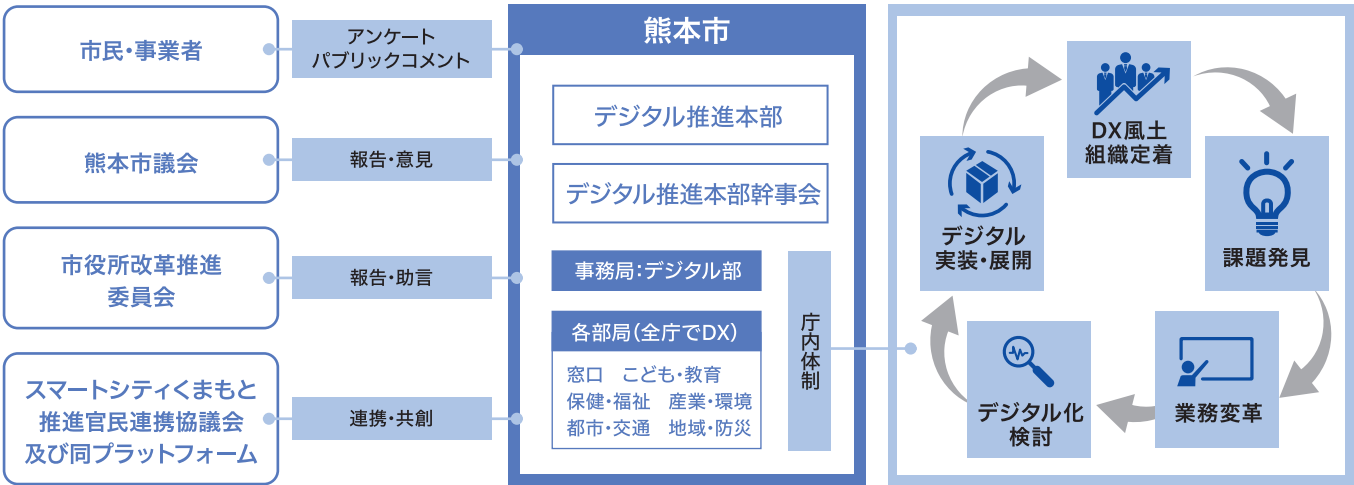


3. データの適正かつ効果的活用

統計データやビッグデータ等の分析により地域課題や市民ニーズを的確に把握し、データの利活用と個人情報保護のバランスを取りながら事業立案等に役立てます。

4. 推進体制の強化・連携

DXを推進する全庁横断的な体制を構築するとともに、議会・市民・事業者など、多くの方々のご意見をいただきながら各取組の有効性を高め、多様な主体との連携と共創により本プランを推進します。



本プランの
本編は
こちらから
ご覧ください



熊本市 総務局デジタル部情報政策課

// デジタル戦略課

// システム推進課

政策局総合政策部データ戦略課

【問合せ先】TEL:096-328-2057(情報政策課)